

JIS L 1902 -繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果- とは

細菌の増殖は、食中毒や病気、アレルギーを引き起こすだけでなく、悪臭などの原因にもなり、衛生的な生活の妨げになります。身近な製品に抗菌加工をすることで、製品上の細菌の増殖を抑え、より衛生的な生活空間を提供することができます。これらの抗菌加工を施した繊維製品の抗菌効果を評価する方法が JIS L 1902 です。

➤ 適用範囲

布帛・詰め物・糸・衣服素材・寝具などすべての繊維製品が対象です。

(プラスチックや金属などは対象外のため、JIS Z 2801 で評価します。)

➤ 試験概要(菌液吸収法)

抗菌加工した試験試料と比較となる対照試料(綿標準布)に菌液を接種し、一定時間培養します。培養後、試料上の生菌数を測定します。試験試料と対照試料の生菌数を比較することにより、どの程度細菌の増殖を抑制したかを抗菌活性値[A]として算出します。

➤ 抗菌効果(参考値)

$2.0 \leq A < 3.0$ 効果が認められる。

$3.0 \leq A$ 強い効果が認められる。



SEK マーク

SEK マークとは、機能性繊維を対象にした製品認証マークのことで、(一社)繊維評価技術協議会が認証をおこなっています。加工剤の安全性・製品の安全性、機能性等すべての基準をクリアして認証されます。ニッセンケンには JNLA(産業標準化法試験事業者登録制度)を取得する指定試験機関として、抗菌防臭加工マーク、制菌加工マークの申請に必要な機能性評価を行っています。



詳細は・・・

▶本規格に関するより詳細な資料(PDF ファイル/22 ページ)は、[こちら](#)からダウンロードできます。

▶バイオケミカルグループ [特設サイト](#)では様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。